

2016年10月23日 主日礼拝

プレイズ

奏 楽

3つの愛

賛 美 聖歌483番「われは主にありて楽し」

(主を喜ぶことは)(御手の中で)

聖 書 ①ヨハネによる福音書 4章6～15節(p.140)

②テモテへの第一の手紙 1章12～17節(p.327)

音 楽 ドルカス会

証 詞 ①瀧山有起姉

メッセージ ①「人生を変える質問 シリーズ1」 倉知契副牧師

②「私はあわれみをこゝむった」 大川従道牧師

(Sparking Joy)

賛 美 「大波のように神の愛が」(献金)

頌 栄 「主の祈り」アーメン

祝 禱

「しかし、わたしがあわれみをこゝむったのは、キリスト・イエスが、まずわたしに対して限りなく寛容を示し、そして、わたしが今後、彼を信じて永遠のいのちを受け取る者の模範となるためである。」
(マタイ十六の十八)

【町田ニュース】

- ・ 本日、東京カルバリーは5時。説教は米国の代表的主の器**チェ・アン**師。
- ・ 祈禱会を大切に。水曜7時半と木10時半(Y)。説教は水曜が佐々木伝道師。木曜は丸藤伝道師。
- ・ 金曜日、準備祈禱会は夜9時(Y)。説教は梅津義道補教師。
- ・ 土曜日午後4時～5時15分は「**準備&祈り会**」。すばらしいですよ。
- ・ **明日の「月曜礼拝」は都合のためお休み**です。
- ・ 来週は月末なので、**国際飢餓対策への募金**を集めます。**ビジョンミーティング**があります。
- ・ 今週も通読表を用い、貪るように聖書を読みましょう。



畑の中の宝物

100歳で召された坂元典子姉の葬儀が、先週月曜、豊田キリスト教会でなされました。美しい礼拝堂で、これほど丁寧に故人のことが語られた葬儀はないのではと思われるほどの素晴らしい葬儀で、故人を通し主の栄光が豊かに現わされたものとなりました。二人の息子さんが思い出を、教会へ導いた方の証、坂元姉本人が葬儀に集まる方に対し残した直筆の手紙も読まれました。

坂元姉は本当に謙遜な方でした。60才も年が離れたこの若僧の訪問を、いつも喜び、歓迎し、ねぎらい、祈り、応援して下さる方でした。

また、一人一人のことに気を配り、励ましの言葉をかける方でした。ホームで働いている方の家族環境のことを聞いては励ます。妻に会えば両手で手を包み、「明子さん、本当によくやっているね。私は二人の息子を育てるのにこんなに苦労したか。投げ出したくなるような時も、どうしたらよいかわからなくなって泣いてしまうこともありました。大変だと思うけど頑張ってくださいね。」とねぎらいの言葉をかけてくださいました。妻もその優しさに涙しておりました。ありがとう。。

坂元姉は関心の広い方で、人一倍ものを考える方でした。毎日NHKを見ていて、話題は子育て、雇用問題、宗教、スポーツ、国際情勢まで広がり、たえずどうにかならないか、こうすればいいのではないかと考えておられました。

私が何より尊敬する点は、信仰についてわかったふりをしないで、わからないことはわからないと実直に質問をぶつけてこられることです。行けば、「先生に聞きたいことがある」と幾つもの質問を投げかけてこられました。3.11以来、「どうして神様はこのようなことが起こるのを許されるのか」と繰り返し問われました。「今はわからないが後でわかるようになる(ヨハネ13:7)」「天が地よりも高いように、わが道は、あなたがたの道よりも高い(イザヤ55:9)」「主は愛する者を懲らしめる(ヘブル12:6)」「万事を益としてくださる(ローマ8:28)」等・知恵を尽くし精一杯答えましたが、今は天で主から直接答えを聞くことができ、ああそういうことですかとうなずいておられることでしょう。

坂元姉の子どものような正直さ、実直さ、真剣さを見習いたいと思います。

大塚信頼

宿題(祝大) 今週もむさぼるように聖書を読みましょう。

Aコース: I テモテ3章～II テモテ3章 Bコース: Eレミヤ9章～26章